# Magic 製品の Windows XP SP2 (正式版)動作確認レポート

マジックソフトウェア・ジャパン株式会社 カスタマーサービス本部 開発部 2004年9月6日

## はじめに

このドキュメントは、Magic 製品(V9Plus, V9, V8 製品。以下 Magic と表記)による Windows XP SP2 (正式版) の 動作確認テストの結果について記述したものです。

## 対象

OS バージョン:

・Microsoft Windows XP Professional バージョン 5.1.2600 Service Pack 2 ビルド 2600 (以下、XP SP2と記し ます)

Magic 製品バージョン:

- ·dbMAGIC V8.2 (8.2K4SP2)
- Magic eBusiness Platform V9 (V9.3SP5c)
- Magic eBusiness Platform V9Plus (V9.4SP3)

## 動作環境

マシン: DELL Dimension 8250 CPU: Pentium4 2.40 GHz メモリ: 512MB

#### 検証結果

以下のプログラムについて、ファイアウォールの設定を正しく行うことにより、XP SP2 以前と同様に動作すること を確認いたしました。詳細については、各項目をご参照ください。

- Pervasive.SQL
- FlexLM
- ・Web サーバ
- ・Magic エンジンおよび Magic リクエストブローカ

#### 備考

・以前に XP SP2 RC2版についてご報告いたしましたが、結果はそのときと同様です。

・Magic の動作は利用する DBMS に依存しますので、各 DBMS が XP SP2 上で動作が確認されていることが 前提となります。ご利用になる DBMS の XP SP2 の対応状況については、各 DBMS メーカ様からの情報をご参 照ください。

以上

## ファイアウォールの設定

ファイアウォールの設定は、コントロールパネルから「Windows ファイアウォール」をダブルクリックして行います。



「Windows ファイアウォール」ダイアログが開きます。デフォルトでは、ファイアウォールは「有効」になっています。

😻 Windows ファイアウォール 🛛 🔀
全般例外詳細設定
Windows ファイアウォールはコンピュータの保護に役立っています。
Windows ファイアウォールでは、承認されていないユーザーによるインターネットまたはネットワーク経由のアクセスを阻止することにより、コンピュータの保護に役立てます。
● 有効 (推奨)(0)     この設定では、[例外] タブで選択されたものを除くすべての外部ソースからのこのコン    ピュータへの接続をブロックします。
例外を許可しない(D)
空港などのセキュリティの弱い場所で、 パブリック ネットワークに接続する場合に 選択してください。 プログラムが Windows ファイアウォールでブロックされても、 通 知はされません。 [例外] タブの選択は無視されます。
(推奨されません)( <u>F</u> )
▼ この設定は避けてください。Windows ファイアウォールを無効にすると、このコンピュー タをウイルスや侵入者にざらす危険性が増す可能性があります。
<u>Windows ファイアウォールのその他の詳細</u> を表示します。
OK キャンセル

Magic 関連のモジュールを外部のマシンからアクセスする場合には、「例外」タブに適切な設定を行う必要があります。

以下にその設定を説明していきます。

## Pervasive.SQL

Pervasive.SQL のワークグループあるいはサーバエンジンの最初の起動時に次の画面が出ます。

💓 Winda	ows セキュリティの重要な警告 🛛 🛛 🛛
٢	コンピュータを保護するため、このブログラムの機能の一部が Windows ファイアウォ ールでブロックされています。
このプロジ	ブラムをブロックし続けますか?
	名前(N): Database Service Manager 発行元(P): Pervasive Software Inc.
	ブロックする(K) ブロックを解除する(U) 後で確認する(A)
Windows しました。 できます。	> ファイアウォールで、このプログラムでのインターネットやネットワークからの接続の受信をブロック プログラムを認識している場合、または発行元が信頼できる場合は、ブロックを解除することが、 どのプログラムに対してブロックを解除できるか表示します。

これに対する対応は、このマシンにある Pervasive のファイルが他のマシンから共用されるか否かにより異なります。

- ・Pervasive のファイルを別のマシンからキャッシュエンジン経由でアクセスする場合や、複数のマシンからこの ディスクにあるデータベースファイルを共有する場合は、「ブロックを解除する(U)」を押します。これにより、ファ イアウォールの「例外」のプログラムとして「C:¥PVSW¥Bin¥w3dbsmgr.exe」が自動的に登録されます。
- ・Pervasive ファイルを共用しない場合、すなわち、同一マシンの Magic からのみアクセスする場合には、「ブロックする」を押します。これにより、Pervasive.SQL のエンジンは、外部からのアクセスから守られます。

一度設定を行えば、以後は上の警告が出ないようになります。

#### FlexLM (eDeveloper 製品(開発製品)では不要)

クライアント製品およびアプリケーションサーバ製品では、ライセンス管理に FlexLM ライセンスサーバを用います。

このマシンの FlexLM ライセンスサーバが、他のマシンから参照されることがない場合、すなわち、このマシン上の Magic だけから参照される場合には、FlexLM に関するファイアウォールの設定を行う必要はありません。

このマシンの FlexLM ライセンスサーバが、他のマシン上の Magic から参照される場合は、以下の手順により、「例 外」リストに、

#### ・ポート 744

・プログラム C:¥FlexLM¥LMG.EXE

を登録しておく必要があります。

## (1) ポート 744 の登録

- 1. 「例外」タブを開きます。
- 2. 「ポートの追加」ボタンを押します。
- 3. 「ポートの追加」ダイアログが開くので、適当な名前 (「FlexLM Port」など)と、ポート番号 744 とを指定し ます。ネットワークの種類は「TCP」です。

ポートの編集						
これらの設定を使って、 ロトコルについては、使	、Windows ファイアウォールでポートを開いてください。ポート番号およびプ 用するプログラムまたはサービスのドキュメントを参照してください。					
名前(N): ポート番号(P):	FlexLM Port					
<u>ポートを開くことの危険の詳細を表示します。</u>						
スコープの変更( <u>C</u> )	OK         キャンセル					

4. 「OK」ボタンを押せば、「例外」リストに「FlexLM Port」が追加されます。

## (2) プログラム C:¥FlexLM¥LMG.EXE の登録

- 1. 「例外」タブから、「プログラムの追加」ボタンを押します。
- 2. 「プログラムの追加」ダイアログで、「参照(B)」を押します。

プログラムの追加	
例外一覧に追加してプログラムとの通信を許可するには、プログラムを選択するか、一覧表示されていないものについては [参照] をクリックして検索してください プログラム(P):	
🖾 FileVisor 🔼	
Partial Function Executor	
□ <u>↓</u> FVランチャ	
📃 Gateway Locator 📃	
🙆 Internet Explorer	
👻 Magic Application Server V9 Plus	
👻 Magic ጋʹኪーカモニタ	
🔀 Maintenance	
Monitor	
MSN Explorer	
パス: C:¥Program Files¥LightShip¥FileVisor5¥fv5.exe 参照( <u>B</u> )	
K	
スコープの変更( <u>C</u> ) OK キャンセル	

3. 「参照」ダイアログで、C:¥FlexLM の下にある LMG.EXE を選び、「開く(O)」を押します。

参照							? 🗙
ファイルの場所型:	🚞 FlexLM	~	] (	3 💋	) 🖻	•	
していた 最近使ったファイル デフクトップ	IMG.EXE IMGRD.EXE LMGRD.EXE LMTOOLS.EXE LMUTIL.EXE makekey.exe						
روباری ر اکار کرد جز ۲۶							
₹1 ⊒ンピュータ							
र्न २७२७-७	ファイル名(N): ファイルの種類(T):	LMG.EXE アプリケーション(*.exe;*.com;*.icd)				*	開(@) キャンセル

4. もう一度「OK」を押して、例外リストに戻ります。

以上で、FlexLM のポートとプログラムの登録ができました。

## Web サーバ (Magic Client 製品(実行製品)では不要)

リモートマシンからローカルマシンの Web サーバの http サービスを利用する場合、「詳細設定」タブの「ネットワーク 接続の設定」で Web サーバ(HTTP)を選択する必要があります。

1. 「詳細設定」タブを開きます。

😻 Windows ファイアウォール 🔀
全般 例外 詳細設定 ネットワーク接続の設定 下に選択されている接続に対して Windows ファイアウォールが有効になっています。特定の 接続に対して例外を追加するには、接続を選択して [設定] をクリックしてください( <u>C</u> ):
☑ □ - カル エリア接続 設定(T)
セキュリティのログ トラブルシューティングのため、ログ ファイルを作成することができます。
Internet Control Message Protocol (ICMP) により、エラー情報お よび状態の情報をネットワーク上のコンピュータ間で共有することがで きます。
Windows ファイアウォールの設定をすべて既定の状態に復元するに は、「既定値に戻す」をクリックしてください。
OK キャンセル

2. 「ネットワーク接続の設定」の「設定(T)」ボタンを押すと、「詳細設定」ダイアログが現れるので、「Web サーバ (HTTP)」をチェックして、「OK」を押します。

詳細設定 ? 🔀
サービス ICMP
インターネットのユーザーがアクセスできるネットワークで実行中のサービスを選択し てください(S) サービス:
☐ Internet Mail Access Protocol Version 3 (IMAP3)
Post-Office Protocol Version 3 (POP3)
Web サーバー (HTTP)
□ インターネット メール サーバー (SMTP) □ セキュリティで保護された Web サーバー (HTTPS)
ロ リモート デスクトップ
追加( <u>D</u> ) 編集( <u>T</u> ) 削除(E)
OK キャンセル

Magic エンジンおよび Magic リクエストプローカ

「アプリケーションサーバとして動作」が Yes の場合は、次のようにして、Magic のエンジンモジュール (eDeveloper では mggenw.exe、アプリケーションサーバでは mgrntw.exe) および Magic リクエストブローカを、「例外」リストに 登録します。

## A. Magic eDeveloper (開発版)の場合

 スタートメニュー、あるいはデスクトップのアイコンから Magic eDeveloper V9Plus を起動すると、 「Windows セキュリティの重要な警告」が出るので、「ブロックを解除する(U)」ボタンを押します。

😺 Windo	ws セキュリティの重要な警告
٢	コンピュータを保護するため、このブログラムの機能の一部が Windows ファイアウォ ールでブロックされています。
このプログ	ブラムをブロックし続けますか?
<b>e</b>	名前( <u>N</u> ): MGgenw 発行元( <u>P</u> ): 不明
	ブロックする( <u>K</u> ) ブロックを解除する(U) 後で確認する( <u>A</u> )
Windows しました。 できます。	・ファイアウォールで、このプログラムでのインターネットやネットワークからの接続の受信をブロック プログラムを認識している場合、または発行元が信頼できる場合は、ブロックを解除することが どのプログラムに対してブロックを解除できるか表示します。

 続けて「Requests Broker」についても「Windows セキュリティの重要な警告」が出るので、「ブロックを解除 する(U)」ボタンを押します。

😺 Windo	wws セキュリティの重要な警告
٢	コンピュータを保護するため、このブログラムの機能の一部が Windows ファイアウォ ールでブロックされています。
このプログ	ブラムをブロックし続けますか?
RQ RT MRD	名前( <u>N</u> ): <b>Requests Broker</b> 発行元( <u>P</u> ): MSE
	ブロックする(K) ブロックを解除する(U) 後で確認する(A)
Windows しました。 できます。	・ファイアウォールで、このプログラムでのインターネットやネットワークからの接続の受信をブロック プログラムを認識している場合、または発行元が信頼できる場合は、ブロックを解除することが <u>どのプログラムに対してブロックを解除できるか表示します。</u>

## B. Magic Client (クライアント実行製品)の場合

Magic Client の場合には、Magic 実行モジュールを他のマシンからアクセスすることはないので、「Windows セキュリティの重要な警告」が出た場合に、「ブロックする (K)」を選んでください。

## C. Magic Application Server (エンタープライズサーバ製品)の場合

Magic Application Server の場合には、アプリケーションサーバエンジン MGrntw.exe および Magic リクエスト ブローカ MGrqmrb.exe を例外リストに登録する必要がありますが、開発製品の場合と異なり自動的に登録する ことができないので、「例外」タブから「プログラムの追加」により追加します。

- 1. 「例外」タブを開きます。
- 2. 「プログラムの追加 (R)」ボタンを押すと、「プログラムの追加」ダイアログが開きます。

7	ナログラムの追加	×
	例外一覧に追加してプログラムとの通信を許可するには、プログラムを選択するか、一覧表示されていないものについては [参照] をクリックして検索してください プログラム(P):	
	🚰 FileVisor 🔼	
	Punction Executor	
	J FV∋ンチャ	
	💻 Gateway Locator 🦰	
	Internet Explorer	
	👻 Magic Application Server V9 Plus	
	👻 Magic ጋኪ-カモニタ	
	B Maintenance	
	Monitor	
	MSN Explorer	
		1
	パス: C:¥PVSW¥Bin¥WBEXEC32.exe 参照(B)	
(	スコープの変更( <u>C</u> ) OK キャンセル	)

3. 「参照」ボタンを押して、Magic をインストールしたディレクトリに移り、MGrntw.exe を選び、「開く」を押し ます。

参照						? 🛛
ファイルの場所型:	🗀 AppServerPlus		~	G 💋	) 📂 🛄	,
最近使ったファイル デスクトップ マイ ドキュメント マイ ニンピュータ	Browser_Client_Cac Gateways JAVA_CLASSES Icense Registry Scripts Support MGPRN.EXE MGPRN.EXE MGrqtMonitor.exe MGrqMonitor.exe MGrqmrb.exe RUN2.EXE	he SETSTYLE.EXE				
マイ ネットワーク	ファイル名(N): ファイルの種類(T):	4Grntw.exe Pプリケーション(*.exe;*.com;*.icd	)		~	開(@ キャンセル

4. 再度「OK」を押すと、例外リストに「Magic Application Server V9Plus」が追加されています。

😺 Windows ファイアウォール	×
全般例外詳細設定	_
入力方向のネットワーク接続は、下で選択されたプログラムおよびサービスのためのものを除き、 Windows ファイアウォールでブロックされています。例外として追加することにより、プログラムによって は動作がよくなる場合もありますが、セキュリティの危険が増加する可能性があります。	
プログラムおよびサービス( <u>P</u> ):	
名前	
<ul> <li>✓ Database Service Manager</li> <li>✓ FlexLM Port</li> </ul>	
Magic Application Server V9 Plus     UPwP ⊐ L = k □ = h	
ロファイルとプリンタの共有	
■リモート テスクトッフ	
プログラムの追加(R) ポートの追加(Q) 編集(E) 削除(D)	
✓ Windows ファイアウォールによるプログラムのブロック時に通知を表示する(N)	
例外を許可することの危険の詳細を表示します。	
OK キャンセル	

5. 同様にして、Magic ディレクトリにある MGrqmrb.exe も例外リストに登録してください。

😻 Windows ファイアウォール 🔀			
全般例外詳細設定			
入力方向のネットワーク接続は、下で選択されたプログラムおよびサービスのためのものを除き、 Windows ファイアウォールでブロックされています。例外として追加することにより、プログラムによって は動作がよくなる場合もありますが、セキュリティの危険が増加する可能性があります。			
プログラムおよびサービス(P):			
名前			
☑ Database Service Manager			
✓ FlexLM Port			
✓ LMG.EXE			
Magic Application Server Varias			
UPnP フレームワーク			
ロファイルとプリンタの共有			
■リモート アシスタンス			
☑ リモート デスクトップ			
プログラムの追加(R) ポートの追加(Q) 編集(E) 削除(D)			
✓ Windows ファイアウォールによるプログラムのブロック時に通知を表示する(N)			
例外を許可することの危険の詳細を表示します。			
OK キャンセル			

以上で Windows ファイアウォールの設定は終了です。

# まとめ

以上のことをまとめると、下図のように例外リストを作成することになります。(ここでは、インストール時のデフォルト のディレクトリでインストールした場合を例にプログラム名を示しています。インストール時に異なるディレクトリを指 定した場合には、それに合わせてプログラム名のパスを変更してください)。

製品名	プログラム/ポート	備考
Pervasive データ ベースエンジン	C:¥PVSW¥Bin¥W3DBSMGR.EXE	Pervasive ファイルを他か ら共有しない場合は不要。
FlexLM ライセンス サーバ	ポート 744	eDeveloper では不要。ま
	C:¥FlexLM¥LMG.EXE	た、ライセンスを他から共 有しない場合には不要。
Web サーバ	(詳細設定 ネットワーク接続の設定 で設定する)	Client 製品では不要。
Magic エンジン	C:¥Program Files¥Magic¥eDeveloperPlus¥MGgenw.exe および MGrntw.exe	eDeveloper 製品の場合。
	C:¥Program Files¥Magic¥AppServerPlus¥MGrntw.exe	Application Server 製品の 場合。
Magic リクエスト ブローカ	C:¥Program Files¥Magic¥eDeveloperPlus¥MGrqmrb.exe	eDeveloper 製品の場合。
	C:¥Program Files¥Magic¥AppServerPlus¥MGrqmrb.exe	Application Server 製品の 場合。

以上